# 開発のスピードを止めない
# Netskopeで実現する「人とAI」のガードレール

Sky株式会社

本文中に記載されている事項の一部または全部を複写、改変、転載することは、いかなる理由、形態を問わず禁じます。

# 登壇者の紹介

## 全社セキュリティ対策推進

Netskope導入プロジェクトを担当

Ｓｋｙ株式会社

ＩＴ統括本部
情報システム部
チーフ

**藤田 翼**

## 社内システム内製開発・DX推進

社内情報共有システムや
業務システムの開発運用、AI推進を担当

Ｓｋｙ株式会社

ＩＴ統括本部
Ｓｋｙスタイル部
技術次長

**村田 知生**

# Ｓｋｙ株式会社について

## 会社情報

**代表取締役 会長：**大浦 淳司

**設立：**1985年3月2日

**資本金：**15億円

**売上高：**1,768.0億円（2026年3月期）

**従業員数：**4,670名（2026年9月現在）

**本社所在地（東京）：**

〒108-0075

東京都港区港南2丁目18番1号 JR品川イーストビル 9階

**本社所在地（大阪）：**

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田3丁目2番2号 JPタワー大阪24階

**所在地：**

大阪・東京・名古屋・札幌・仙台・横浜・静岡・三島・神戸・広島・福岡・沖縄 他全国28拠点

## 事業内容・認証

### 事業内容

- 自社パッケージ商品の開発・販売
- 業務系システム開発
- 組込み / 制御 / アプリケーション開発
- ソフトウェア評価 / 検証
- 各種コンピュータ / ネットワークのシステムインテグレーション事業
- 関連機器のシステムインテグレーション事業
- 前記関連分野のサービス事業

### プライバシーマーク

- 第20000092（11）号

### ISO認証

- ISO/IEC 20000［ITMS 512306］（2006年11月17日）
- ISO 9001［FS 98370］（2005年10月28日）
- ISO/IEC 27001［IS 80703］（2004年7月8日）
- ISO/IEC 27017［CLOUD 754336/785682/830614］

# 事業領域

下記の２事業において、システムの開発や構築、自社パッケージの販売など、
**ソフトウェア開発に関わる事業を幅広く展開**しております

## ICTソリューション事業部

### パッケージ商品の開発・販売

| | |
|---|---|
| 企業・団体向けパッケージ商品 | SKYSEA Client View |
| 医療機関向けパッケージ商品 | SKYMEC IT Manager |
| シンクライアント商品 | SKYDIV Desktop Client |
| 営業名刺管理 | SKYPCE |
| 小・中・高等学校・大学向けパッケージ商品 | SkyMenu Pro / SkyMenu Class / SKYMENU Cloud |
| システムインテグレーション | |

## クライアント・システム開発事業部

### 各種ソフトウェアの設計・開発・評価

| | | | |
|---|---|---|---|
| | Webシステム<br>データ分析<br>生成AI<br>クラウドリフト・シフト | | カーエレクトロニクス |
| | モバイル | | デジタル複合機 |
| | デジタルカメラ | | エネルギー |
| | 医療機器・その他 | | ソフトウェア<br>評価/検証 |

# コーポレートメッセージ

## 「AIとともに、まだ見ぬテクノロジーの空へ。」

AIとともに、
まだ見ぬテクノロジーの空へ。
Sky

弊社は、経営革新にもAIを役立てる「**AI経営**」に大きく舵を切り、
極めるという意志を表したコーポレートメッセージを掲げています。

これまで以上にAIに注力し、自社商品へのAI機能の搭載や
**幅広いお客様**への**AI関連技術のご提供**を加速してまいります。

また、社内に**おけるAI活用環境の充実**を図り、業務効率向上に取り組んでおります。

# Ｓｋｙ株式会社のAI活用状況

**2024年**

## 全社員向けにAIチャット『SKYAI』をリリース

安全なAI利用環境の確立を目指す

**2025年**

## 特化型AIエージェント向けプラットフォーム『AI-Division』をリリース

14種類の作業に特化したAIエージェントが稼働

**2026年**

## 全社に『Gemini Enterprise』を導入、爆発的な普及

導入半年で社員が作成したエージェント数は2万件以上

**2027年~**

## AIエージェントを更に進化させ『Agentic AI』へ

より複雑な目標を自律的に完遂するAIを目指す

# 社内のAI活用推進

## AI Innovation Lab

「AIエージェントの高速開発」や「全社への普及推進」で、
Ｓｋｙ株式会社のAI活用をリード

### 社内で活用するAIエージェントの開発

社員の業務効率を向上させる多様なエージェントを内製

- **活躍社員推薦**
  社員の日報から活躍を確認
- **予定調整**
  社員の空き時間で予定を調整
- **新規PP検索**
  案件・スキル表から情報提供
- **社内情報検索**
  社内ブログ・FAQから情報提供
- **日報解析**
  社員の日報を分析
- **作業ログ**
  PC操作ログから作業を分析
- **コメント要約**
  社内ブログから要点を分析
- **提案資料検索**
  社内サーバーから過去の提案資料を検索
- **資料要約**
  ドキュメントを分析し内容を要約
- **Deep Research**
  Web・社内ブログからレポートを作成

### 最適な開発環境の構築

スピード感を持った開発・実装を支える環境づくり

### 社内へのAI普及推進

ワークショップなどによる全社的なAI活用の推進

# Netskopeの導入に至るまで

## 2020年 新しい技術を試したい開発部門と情シスの葛藤

開発部門と情シスが見えない対立構造に

## 2021年~ 「セキュリティ強化」と「インフラ強化」の両立に悩む

SSL復号化によるハードウェアスペックの枯渇・社内トラフィック増

## 2025年 抜本的解決を叶える、Netskopeという選択

抜本的解決のためクラウド型セキュリティ製品へ方針転換
トライアルにて「自社のセキュリティ運用はどう変わるか」をイメージできた

Sky

# 1年で約7000台にNetskopeを導入、どのように進めたか？

## あえて泥臭く、地道に導入完遂を目指した1年

1 なぜ今、情シスがNetskopeの導入に取り組んでいるのか

2 業務において、Netskopeがどのような役割を果たすのか

3 復号化の仕組みと、問題が起きた際の具体的なトラブル対処法

# 開発部門として、Netskope導入の影響は？

## 証明書検証トラブル

WSLとかMacとか
色々あるけど大丈夫かな・・・

開発ツール毎の
設定が大変そう・・・

あらかじめ社内FAQに
主要な環境・ツールの設定を用意した
ことで大きなトラブルはなかった

## レイテンシー増加

通信速度が
遅くなったらイヤだな・・・

ツールのパフォーマンス
低下しないかな・・・

速度低下を感じることはなかった

# Netskope Advanced Analytics の活用

『あってよかった』と情シスが感動！
Netskopeを最大限活用するための「ログ分析・可視化の最適解」

Netskopeで、BIツールのような可視化やログ分析が完結すること

「傾向把握→仮説立て→試行」サイクルを回すためのハードルが低下

「Netskope One Agentic Broker」によるリモートMCP可視化と制御

トライアル

# 今後の展望と取り組み

## AIに人と同等以上にセキュリティを

AIは企業内のあらゆる場所で稼働しており、より自律的に動くよう進化を続けている

## 現場とセキュリティ部門の協力体制

MCP、Agent Skillsなど新しい技術が日々登場する中、
セキュリティ部門だけでリスクアセスメントするのは困難

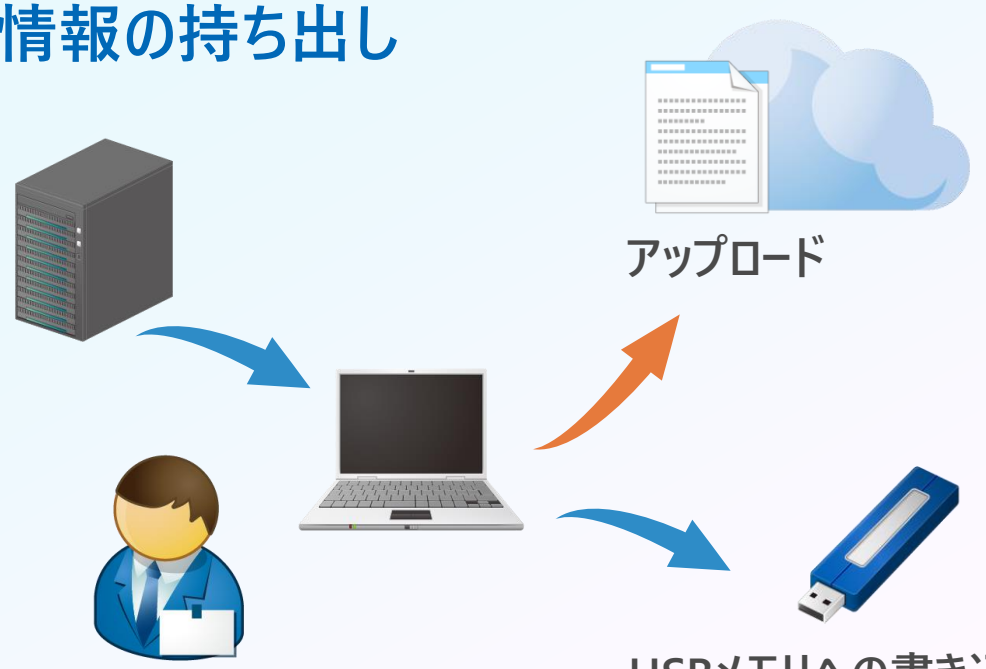
## 「Yes」と言えるアーキテクチャーに

疑わしい挙動が裏でしっかりブロックされるアーキテクチャーを構築し、
新しいパラダイムも取り入れられる組織に

# Netskope + SKYSEA Client View

２つの視点でセキュリティの死角をなくす

## 情報の持ち出し




## 生成AIへの機密情報入力

Netskope　SKYSEA Client View